

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第34号 2019年2月1日

インフルエンザが「警報レベル」となり、大流行の発生・継続の状況にある
そうです。感染力が非常に強く、子供や高齢者、持病のある方は肺炎などを
併発し重症化しやすくなるため、特に注意が必要になるようです。
『かからない』『うつさない』『悪化させない』ようにしたいですね。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第34号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
 - ◆第38回コンサート
- 【2】今後の予定（先取り情報）
 - ◆第39回コンサート
 - ◆第40回コンサート
- 【3】誰かに話したくなる音楽ミニ知識♪ハ音記号
- 【4】コンサートのアンケートから

【1】次回コンサートのご案内

■■第38回コンサート■■

- ◇2019年3月17日（日曜日）
14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：原嶋唯（ピアノ）、毛利文香（ヴァイオリン）、田原綾子（ヴィオラ）、
伊東裕（チェロ）
- ◇プログラム（予定）
 - ◆モーツァルト：ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K. 478
 - ◆シューマン：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op. 47
 - ◆ブラームス：ピアノ四重奏曲 第3番 ハ短調 Op. 60
- ◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円
- ◇会場：大倉山記念館ホール

第38回ジョイフルコンサートは
『ピアノ四重奏の世界～アンサンブルで味わう ドイツ音楽の響き』と題して、
お届けします。

メッセージが届いています

今回、ピアノ四重奏の名曲ばかりを集めたと言えるこの重厚なプログラムを
演奏させていただけますことを、心から楽しみにしております。
昨秋、ヨーロッパを中心に世界中で活躍されているドイツ人4人によるピアノ
四重奏団、フォーレ四重奏団のレッスンを受ける機会に恵まれました。
レッスンを通して私たちが身に沁みて感じたピアノ四重奏、そしてドイツ音楽の
奥深さを、今度は聴いてくださる皆様に存分に味わっていただけるよう、頑張り
たいと思います！

（毛利文香）

今回のジョイフルコンサートはヴァイオリンの毛利文香さんを中心に編成された
ピアノ四重奏です。プログラムもモーツァルト、シューマン、ブラームスとクラッ
シック音楽の王道の選曲でとても聴き応えのあるものだと思います。

どうぞお楽しみになさってください。

☆ブラームス/ピアノ四重奏曲第3番ハ短調Op. 60

●ブラームス

ブラームスは19世紀ドイツの作曲家、ピアニスト、指揮者です。
バッハ、ベートーヴェンと共にドイツ音楽の3Bと呼ばれています。

ブラームスの家は余り経済的には恵まれていませんでした。小さい頃からピアノを習い、ただ才能には恵まれていたようで、段々とレストランや居酒屋で演奏するようになり、生活を支えていました。その後は作曲に移行していきます。

20歳の頃デュッセルドルフのシューマンの家を訪ね、この出会いがとても大きな意味を持つようになります。
シューマンはブラームスのピアノ演奏と音楽に感銘を受け、ブラームスをサポートし、彼の作品を広めようと大変尽力します。ブラームスもシューマンをととても尊敬していました。

しかしその頃シューマンはすでに10年ほど精神を病んでいて、しかも深刻な状態でした。出会ってから1年も経たないうちにシューマンは橋から身を投げて自殺を図ります。辛うじて命は助かりますが、療養所に入ることになります。

2年間の療養後、シューマンは46歳という若さで亡くなりました。
シューマンの療養生活中からブラームスはシューマンの家族を助けるようになっていたそうです。
シューマンの妻クララはブラームスより14歳年上のピアニストでしたが、8人の子供を抱えて未亡人となってしまいました。
シューマンとクララはクララの父親の猛反対を押し切って、大恋愛の末結婚したいきさつがあります。

クララに対してブラームスは恋愛感情を抱いていたという説もあります。クララもブラームスの音楽の大変な理解者であったと思われ、信頼関係はとても強いものであったとは想像できます。ブラームスは婚約したこともあったそうですが、結局生涯独身でクララの死後1年も経たないうちにブラームスも亡くなります。

実際のところはどうだったのでしょうか？

●ピアノ四重奏曲第3番ハ短調Op. 60

ブラームスの音楽を年季の入った熟成した赤ワインと言っていた人がいました。この曲も聴いてみるとわかるような気がします。

このピアノ四重奏曲の初稿が作られたのはちょうどシューマンの自殺未遂、死と重なる時期で、いろいろ憶測も生み「ウェルテル四重奏曲」とも呼ばれているそうです。

4楽章からなり第1楽章はピアノの1音から弦楽器の演奏が続き、かなり印象的な始まり方です。第3楽章のみ長調で穏やかに進んでいきますが、後の楽章は重々しく、時には激しい音楽となっています。

じっくり聴いていただきたいです。(A.N)

■予約申し込み

大変申し訳ありませんが、「満席」となってしまいました。

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第39回コンサート■■

◇2019年5月19日（日曜日）

◇出演：荒木奏美（オーボエ）、宇根美沙恵（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆シューマン：3つのロマンス Op. 94

◆カリヴォダ：ディヴェルティメント Op. 58

ほか

※東京藝術大学に在学時（2015年）より東京交響楽団の首席オーボエ奏者を務める、荒木奏美さんを迎えてのコンサートです。ご期待ください。

★予約受付開始：2019年3月18日（月曜日）午前9時より

■■第40回コンサート■■

◇2019年7月21日（日曜日）

◇出演：務川慧悟（ピアノ）

【3】誰かに話したくなる音楽ミニ知識♪ハ音記号

いろいろな楽器をオーケストラに入れると人間の声と対応して4つに区分されることとなります。これは、作曲の基本が混声四部合唱曲を書くことに起因しているからだそうです。

人間の4種類の声はソプラノ、アルト、テノール、バスの順に低くなります。ソプラノに当たるのがフルート、トランペット、第1ヴァイオリンで、アルトに当たるのがオーボエ、ホルン、第2ヴァイオリンです。テノールに当たるのがヴィオラ、クラリネット、テノール・トロンボーンで、バスに当たるのがチェロ、ファゴット、バス・トロンボーンです。コントラバスとチューバはバスを補強する楽器です。

各楽器の音域にふさわしい楽譜を書くために、どの音部記号を使うかが決まっています。音部記号とは五線の最初（左端）に書かれる記号です。ソプラノとアルトに当たる楽器はト音記号を使います。ただし、ホルンは音域が広いのでヘ音記号も用います（ヘ音記号を使っても下第2線まで必要）。バスに当たる楽器はヘ音記号を使います。

そして、ト音記号もヘ音記号も使わないのが中音域を担当するヴィオラとテノール・トロンボーンです。ヴィオラの音域は中央のドの1オクターブ下のド（ヘ音記号の第2間の音）から、中央のドの2オクターブ上のミ（ト音記号で上第3線）くらいまでであるのですが、「ハ音記号」という音部記号を使います。

「ハ音記号」は縦線2本に数字の3がくっついたような記号です。

詳しくは次のリンクをご覧ください。

<http://mossmusics.wpblog.jp/?p=219>

ハ音記号は五線の上で書く位置が変えられ、ヴィオラは第3線に3のような字のくびれがくるハ音記号の中の「アルト記号」を使います。第3線が中央のドになります。

テノール・トロンボーンや、チェロの高音域にはくびれの位置が第4線にくるハ音記号の中の「テノール記号」を使います。第4線が中央のドになります。

バッハやモーツァルトの自筆楽譜ではピアノやオルガン曲にもハ音記号（アルト記号）を使った部分が結構ありました。しかし今は、鍵盤楽器やほとんどの楽器がト音記号とヘ音記号が読めればいいので、現在はヴィオラ奏者以外にハ音記号をすらすら読める人は少ないそうです。

どんな人がヴィオラ奏者に向いているのかというと、血液型がAB型の人という説があります。音楽の内声部を支え、周りに気を配り臨機応変に対応できる柔軟性を持った性格の人がいいようです。本当かどうか機会があったらヴィオラ奏者にお聞きしたいです。（のん）

【４】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（１月２０日公演）

『田原綾子ヴィオラリサイタル～深まる冬 ヴィオラの響きと出会う』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」６２％、「良かった」１６％、残りは「無回答」の２２％で、今回もとても好評でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『ヴィオラの音に本当に感激しました。素晴らしかったです。ファンになりました！』
『ヴィオラの醍醐味をたっぷり聴かせていただきました。咽ぶような、歌うような、唸るような、漂ったり音色の中にいろんな表情が豊かに表現されていました』『すべての曲目がヴィオラのために作曲されたもので、ヴィオラを愛する人にはこの上ないプログラムでした』『最初から最後まで本当にすばらしかったです。田原さんのヴィオラの音が奥深くで多彩で複数の人の声のようでした。ひきこまれました。原嶋さんのピアノがまた美しく、お二人の音の波が見事に重なり、本当にすばらしく、幸せな時間でした』『ヴィオラという楽器のもつ激しさ深さを初めて知りびっくりしている。クラークの作品が良かった。アンコール２曲有難うございました』など、
“ヴィオラは初めて”の人も“ヴィオラが大好き”の人も楽しめたとの趣旨の書き込みが数多く寄せられました。

また、『ボランティアの方々のおもてなし、手作り感がとても心地良く、今後も都合を合わせて伺いたいと思っておりました。演奏も素晴らしいし、環境も素晴らしくとても幸せな時間を過ごせました』『心和む時間を味わえることが毎回楽しみです。１人でフラッと普段着で来られるのに質の高い音楽とすごせるなんてぜひいたくだな一と喜んでいきます』『初めてきました。登り坂がすごかった。建物が立派で風情があります。手造り感がいいですね』など、好意的メッセージも頂きました。ありがとうございました。アンケート回収数：５０（回収率６４％）

【編集後記】

テニスの大坂なおみ選手が「全豪オープン」の女子シングルスで初優勝を飾りました。昨年の「全米オープン」に続き４大会２連勝を成し遂げ、世界ランキングも第１位となる快挙です。この１年間の「心・技・体」の成長ぶりが凄いですね。（お）

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：０８０－８４２４－５１０８

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>
